

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	運動器・生活環境支援（地域・予防・支援工学）理学療法				
学位	学士（社会学）、博士(医学)				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科リハビリテーション医学（博士課程）修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	（公社）日本理学療法士協会（代議員）、（公社）埼玉県理学療法士会（表彰委員会委員長）、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会（副理事長、専門会員A）、日本予防理学療法学会（評議員、専門会員A）、日本支援工学理学療法学会（専門会員A）、日本理学療法学会連合（財務委員長）				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	下肢切断者に対するバランスメカニズムの解明－模擬義足を対象に－	共同	第33回埼玉県理学療法学会、埼玉県さいたま市		○井上和久, 小野塚雄一, 清水新悟		2026.1
2	回復期リハビリテーション病棟入棟が遅延した脳卒中患者に対する装具療法の効果：2症例の報告	共同	第33回埼玉県理学療法学会、埼玉県さいたま市		○小野塚有里, 井上和久		2026.1
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
1	生活環境支援系理学療法特論(博士前期課程)		6	PCによるプレゼンテーション講義を実施し、生活環境支援理学療法に関する文献抄読も実施した。			
2	理学療法症候障害論(博士後期課程)		2	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義「運動器障害(下肢)におけるバランス機能と介入効果」を実施した。			
3	日常生活活動分析学	○	8	主に授業は、パワーポイントを使用した講義を実施し、体験学習(車椅子乗車・介助)も実施した。また、紙媒体の配付資料が必要な事前に学生に希望を確認した。WebClassにデータの閲覧・講義資料データ保存用を用意し、紙媒体資料の代わりとした。			

4	リハビリテーション看護		1	看護学科の授業：リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持を目指した理学療法士によるリハビリの実践」担当。主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行った。また、科目責任者の希望により松葉杖の使用や注意点についても、実物を見せながら視覚的に説明を行った。
5	看護学概論		1	健康開発学科の授業：看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、パワーポイント使用した講義を実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った。
6	義肢装具学		4	主に授業は装具について講義し、パワーポイント使用した講義を実施した。また、紙媒体の配付資料が必要か事前に学生に希望を確認した。WebClassにデータの閲覧・講義資料データ保存用を用意し、紙媒体資料の代わりとした。
7	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		3	SP（理学療法士）を利用し、課題をもとに14名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
8	リハビリテーション教育学Ⅱ（博士前期・後期課程）		1	「OSCEの課題作成」における授業資料をPPTで作成し、WebClass上に資料をアップし講義等を実施した。
9	理学療法応用技術学A(予防・老年)	○	8	PCによるプレゼンテーションで実施し、予防理学療法学の概説・理解・実際について、教科書を元に講義を実施している。また、紙媒体の配付資料が必要か事前に学生に希望を確認した。WebClassにデータの閲覧・講義資料データ保存用を用意し、紙媒体資料の代わりとした。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法症候障害演習（博士後期課程）		2	主に授業は、Webによる演習「装具の運動学的・運動力学的研究法」を実施した。文献抄読も課題として提出していただき、内容についてフィードバックした。
2	理学療法学研究法演習		0.5	担当授業は「生活環境支援理学療法学」「身体バランス」についてPCによるプレゼンテーションで実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2026.2.16～2026.3.1	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技および介助、治療の見学と体験について確認・指導した。また、実習終了後報告会を実施した。
2	臨床教育実習Ⅱ		2025.9.22～2025.10.26	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の基本的検査・測定手技をクリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、見学と実践について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		2025.4.14～2025.6.8	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般（評価と治療）について一連の過程を実践の場で学習した内容について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。

4	臨床教育実習Ⅳ		2025.6.23～2025.7.27	学外での臨床教育学習を通じて、クリニカルクラークシップ型学指導に基づいて、理学療法全般（評価と治療）および医療的リハビリテーションから地域リハビリテーション領域への一連の流れにおける理学療法の実践過程について確認・指導した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
5	IPW実習	○	2025.4～2026.3	主任科目責任者としてIPW実習全体の準備・運営を総括担当した。また、4大学連携においても、報告会のチラシを作成・周知し、連携教育を実践した。前年度の改善できる箇所について取り組み、次年度に向けてもより改善した仕組み作りを行った。
6	義肢装具学実習		24	義肢装具学で学んだ基礎理解を踏まえて、義肢装具の適合判定と評価学、治療学について、演習・実習を主体とした講義を行い、義肢装具領域における実践的理学療法介入技術を習得する授業を展開した。義肢学実習では、切断患者(ゲストスピーカー4名)の身体特性評価としての四肢長・周径計測・断端計測・その他のROM・筋力などの評価や模擬義足歩行体験実習・義肢装着訓練実習などを行った。装具学実習では、装具の適合判定や評価、また装具の作製も実施した。
7	日常生活活動指導実習	○	24	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した。また、介護福祉機器展示場に同行し、介護福祉機器の説明を行った。また、紙媒体の配付資料が必要か事前に学生に希望を確認した。WebClassにデータの閲覧・講義資料データ保存用を用意し、紙媒体資料の代わりとした。
8	義肢・装具学実習		2	作業療法学科の授業：義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、パワーポイント使用した授業を実施した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 0名	副指導 0名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
3	博士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	担当ゼミの打ち合わせ	2025.4～2026.3	1年生4名、2年生4名、計8名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った（年数回）。	
2	水戸メディカルカレッジ：装具学・義肢学講義	2025.4～2025.12	装具学・義肢学の講義（対面）について実施した（30コマ）。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学2025年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」	埼玉県立大学	チームビルディング研修	2025.5
2	埼玉未来大学（北部）	埼玉未来大学	楽しく体力アップ	2025.6
3	埼玉未来大学（西部）	埼玉未来大学	100歳まで自分の足で歩ける体を作る!足と靴の健康を学ぶ	2025.7
4	2025年度埼玉県立大学理学療法学科臨床実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学	予防理学療法学 講義概要	2025.8

5	理学療法士講習会	(公社)日本理学療法士協会、(公社)埼玉県理学療法士会	装具療法－プラスチック短下肢装具の適合評価－	2025.9
6	埼玉県立大学2025年度履修証明プログラム「専門職連携を学ぶ講座」	埼玉県立大学	多職種チームによる実践事例研修（2日間）	2025.9 2025.10
7	埼玉県立大学 オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	学童期の姿勢－脊柱変形の予防－	2025.10
8	埼玉県立大学 オープンカレッジ講座	埼玉県立大学	健康のために取り組む生活習慣病の対策	2025.10
9	埼玉県立大学 高校出張講座（埼玉県立所沢西高等学校）	埼玉県立大学	学問研究ガイダンス	2025.11
10	第12回日本予防理学療法学会学術大会	（一社）日本予防理学療法学会	シンポジウム⑥ 栄養・運動・介護・疾患予防 テーマ：介護・再発予防における体組成について（シンポジスト）	2025.11
11	第1514回臨床実習指導者講習会	一般社団法人全国リハビリテーション学校協会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会	1. 臨床実習制度の理念と概要 2. 臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案	2026.3

（２）国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	（公社）日本理学療法士協会		代議員	2020.6～現在
2	（公社）日本理学療法士協会		議事運営委員	2020.6～2025.6
3	（一社）日本地域理学療法学会		理事（副理事長）	2021.6～現在
4	（一社）日本理学療法学会連合		財務委員会：委員長	2021.6～現在
5	（一社）日本予防理学療法学会		評議員	2021.8～2025.6
6	（一社）日本予防理学療法学会		編集委員	2021.9～現在
7	補装具支援のあり方研究会		世話人	2022.4～現在
8	専門リハビリテーション研究会		運営審議員	2022.4～現在
9	（公社）埼玉県理学療法士会		表彰委員会：委員長	2023.7～現在
10	埼玉県総合リハビリテーションセンター		講師（入院患者及び外来患者に対する理学療法訓練の指導・助言等）	2025.4～2026.3
11	（一社）日本予防理学療法学会		第12回日本予防理学療法学会学術大会：演題査読	2025.6
12	（一社）日本地域理学療法学会		第12回日本地域理学療法学会学術大会：演題査読	2025.6
13	（一社）日本地域理学療法学会		第12回日本地域理学療法学会学術大会：座長(口述：ノミネートセッション)	2025.10
14	埼玉県第５回 臨床実習指導者講習会（目白大学）		ファシリテータ	2025.10
15	（公社）埼玉県理学療法士会		理学療法－臨床・研究・教育－：投稿論文査読（1件）	2025.10～12

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	学部教務委員会	2025.4～2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携教育研修センター（①学内IPEチーム・リーダー、⑤現職者IPEチーム、⑥saipeチーム）	2025.4～2026.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者会：主任科目責任者	2025.4～2026.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	IPE科目担当者会・会長	2025.4～2026.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	4大学間連携運営連絡会	2025.4～2026.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	入試（大学院・推薦・共通）	2025.4～2026.3
7	全学的委員会及びセンター業務等	新カリキュラム検討部会（代理など）	2025.10～2026.3
8	学科等における委員会等	学科会議・業務会議	2025.4～2026.3
9	学科等における委員会等	2025年度臨床教育実習指導者会議：準備運営主担当	2025.4～2026.3
10	大学広報活動	埼玉県立志木高等学校2年生	2025.7
11	大学広報活動	オープンキャンパス2日間	2025.8
12	大学広報活動	埼玉県立小川高等学校1年生	2025.10
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		